

知って
おきたい

災害に備えて 今できること



これから、豪雨や台風などによる災害が発生しやすい時期となります。災害は、いつ、どこで、どのような形で起こるかわかりません。被害を最小限にするために、災害の前兆やお住まいの地域の特性を把握するとともに、日ごろから災害に備えて準備しておくことが大切です。

こんな前兆に気をつけて！

がけ崩れの前兆

- がけから水が湧き出してくる
- がけに亀裂が入る
- がけから小石がバラバラ落ちてくる
- がけから木の根が切れるなどの異様な音がある

地すべりの前兆

- 井戸や沢の水が濁る
- 地面にひび割れができる
- 斜面から水が吹き出す
- 家や擁壁に亀裂が入る
- 家や擁壁、樹木や電柱が傾く

土石流の前兆

- 山鳴りがする
- 雨が振り続けているのに川の水位が下がる
- 川の水が急に濁ったり、流木が混ざり始める
- 腐った土の臭いがする

雨が降りやんだ後でも
土砂災害が発生することが
あるので注意が必要です!!

※ここに紹介した土砂災害の前兆は、すべてではありません。これらを参考に早めに避難しましょう。

こんな地形には、こんな災害に注意！

山間部



山崩れに注意が必要です。山崩れは集中豪雨ばかりではなく、地震によっても発生します。特に、シラス地帯では、崩れやすいので注意しましょう。

扇状部



山間部の集中豪雨に注意してください。豪雨によって山崩れが起きると、土石流の危険があります。

急傾斜地



がけ崩れに注意が必要です。がけ崩れは、豪雨などによって突然発生します。

河川周辺



河川の流域や、かつて河川敷だったところは、豪雨によって洪水に見舞われる危険があります。

※危険箇所の詳しい地域については、お住まいの市町村などに確認してください。

自分や家族でできる日ごろからの備え

非常持出品を用意しよう

大規模災害時に備えて、最低3日分程度(できれば1週間分)の食料・飲料水や懐中電灯などを用意しておきましょう。

備えあれば
憂いなし



危険箇所を知ろう

災害時には、思いがけない場所が危険箇所となり得るため、日ごろから地域のことを確認しておきましょう。

事前の
確認を



早めの避難を心がけよう

雨風が強くなる前、暗くなる前に、地域の人たちと協力し、早めの避難を心がけましょう。

迅速かつ
安全な
避難を



自主防災組織に参加しよう

自分たちの地域は自分たちで守るという活動に積極的に参加、協力するようにしましょう。

地域で
協力



家族で話し合おう

災害時の役割分担、避難場所、連絡方法などを事前に話し合っておきましょう。

家族の
防災会議



訓練や研修に参加しよう

地域や県、市町村が行う訓練・研修に積極的に参加して、防災に関する知識を習得するようにしましょう。

日ごろから
訓練を



災害時の活動

災害応急対策を行おう

隣近所の人など地域の人が協力して、初期消火や救助などの応急対策を行いましょう。

みんなで
協力



協力して避難しよう

高齢者や子ども、障害者、疾病者など災害時の避難に支援が必要な人を地域で支え合って避難しましょう。

地域で
支え合い



あなたのお住まいは安全ですか！

危険な住宅から移転するための費用の一部を補助しています



がけ地の崩壊等の恐れのある土地に建っている危険住宅

補助を受けるためには、がけの高さや角度、危険住宅の位置や建設年度などの要件に該当する必要があります。

お住まいの住宅が該当するかは、各市町村の住宅担当課までお問い合わせください。



危険住宅の除却
最大802千円の補助



鹿児島県 がけ地近接等危険住宅移転事業

検索

安全な場所への移転
最大7,227千円の補助



問い合わせ先 県庁建築課 ☎099(286)3739

防災タウンページを活用しよう！

各家庭に配布されている防災タウンページは、日ごろの備えや災害時に役立つ情報が満載です。ぜひ活用しましょう。



災害時の情報収集はこちらから

○鹿児島県危機管理・防災ホームページ

鹿児島県 防災 検索

○鹿児島県防災WEB

○鹿児島県危機管理局ツイッター(ユーザー名:kikikanrikago)

○土砂災害警戒区域等マップ

県内の土砂災害警戒区域等の閲覧検索ができます。

○鹿児島県河川砂防情報システム

県内の雨量や水位、土砂災害警戒情報、気象警報等の発表状況などについて情報提供します。

QRコードからもアクセスできます。

スマート
フォン版



携帯
電話版

